



町長 上坂 隆一

3月7日、令和5年第1回月形町議会定例会が招集され、令和5年度の町政執行方針と教育行政執行方針が述べられました。

今回掲載した内容は、抜粋および要約したものとなっております。全文については、町ホームページからご覧いただけます。

なお、町政執行方針に記載されている令和5年予算大綱については、6・7ページに掲載しています。

■全文掲載について

【町政執行方針】

●町公式ホームページ↓行政について
↓町の組織↓企画振興課↓「町政執行方針」

●問合せ先 企画振興課 ☎ IP 53・23
25

【教育行政執行方針】

●町公式ホームページ↓議会・委員会
↓教育委員会↓「教育行政執行方針」

●問合せ先 教育委員会 ☎ IP 53・34
43

本町を取り巻く社会情勢は、急速な人口減少と少子高齢化、新型コロナウイルス感染症への対応など依然として厳しい状況にあります。まちづくりの指針となる月形町第4次総合振興計画と第2期月形町創生総合戦略および月形町人口ビジョンに掲げる目標に向かい、未来に希望の持てる持続可能なまちづくりを目指して町政運営を進める所存であります。

現在の総合振興計画および創生総合戦略は、それぞれ令和6年度が計画の最終年となりますが、これまで実行してきた各施策の効果検証を行うつつしっかり締めくくってまいります。

本町は、令和5年4月1日、町制施行70周年を迎えます。この記念すべき節目の年を祝し、記念式典の挙行とともに関連事業の実施を予定しております。

今、本町は大きな転換期を迎えていると思えます。旧JR札沼線の廃線を契機として、新たなまちづくりに取り組んでいます。皆楽公園エリアの再整備、義務教育学校の整備など大型事業の推進という課題に直面しています。今とこれからの未来のために挑戦するまちづくりを、更に進める必要があると考えています。

町民の皆さんが、月形町民であることに誇りを持てるような「笑顔があふれるまち月形」の実現を目指して、職員一丸となって町政の推進に取り組んでまいります。

みんなにやさしく健やかなつきがた

健康寿命の延伸

高齢者の健康状況を分析し、保健事業・介護予防事業の取り組みを見直すことから行きます。また、歯や歯ぐきの健康状態が生活習慣病の悪化や認知症の進行にも大きく関係すると言われていたことから新たに「成人歯科検診・後期高齢者歯科検診」を実施し、むし歯や歯周病の早期発見と治療につなげ、生活習慣病の悪化を予防しながら生涯食べる楽しみを維持してもらうことを目指します。

各種福祉計画の策定

「月形町第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」「月形町第8期介護保険事業計画・第9期高齢者保健福祉計画」は令和5年度が計画の最終年度となります。3年間の進捗状況を評価した上で、本町の実情に沿った新しい計画を策定し、

アンケート調査により、高齢者の皆さんの生活状況や健康状態を把握・分析するとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して生活を続けていけるよう、適切な介護保険料の設定と介護サービス利用の促進、地域包括ケアシステムの更なる充実を目指していきます。

子育て支援を拡充

認定こども園は傷みが目立つ外壁を補修するとともに、園舎内外の環境整備に努めてまいります。本町には産科や小児科が無いため、産科・小児科の医師や助産師に直接メールなどで相談ができるオンラインサービスを導入します。気軽に相談し不安を軽減できる環境を整え、妊産婦や子育て中の皆さんが安心して子どもを産み育てることができるよう、努めてまいります。

豊かでにぎわいのあるつきがた

農業の担い手の確保

引き続き地域おこし協力隊の制度や町独自で取り組んできた支援制度を広く周知するとともに、新たに地域おこし協力隊インターンと、おためし地域おこし協力隊員を募集し、関係機関と連携のうえ、本町の農業の新たな担い手の確保に努めてまいります。

商工業の経営改善支援と担い手の確保

プレミアム商品券の発行や経営改善のための支援を商工会と連携し取り組んでまいります。

後継者や新規就業者を支援する「商工業後継者等新規就業支援事業」、就業者の移住およびそのマッチングを支援する「UIターン新規就業者支援事業」を実施してまいります。

月形町振興公社の経営改善

昨年から国の地域活性化起業者制度を活用し、2名の起業者が派遣されています。民間のノウハウを活用し、引き続き経営改善に取り組んでまいります。

町民保養センターなどの改修

令和4年度中に基本・実施設計を終え、令和5年度の工事着工、令和6年度の工事完了を目指します。

道の駅の整備

町民保養センターなどの改修に合わせ、令和6年度の設置に向けて準備します。

快適で安全・安心なつきがた

廃棄物対策と下水道事業の推進

廃棄物対策は、分別の徹底と減量化、リサイクルなど、循環型社会の形成を推進してまいります。下水道については、2カ所ある汚水処理施設の維持管理適正化計画を策定するとともに、施設設備の資産管理などを適正に行うことを目的に、特別会計から公営企業会計に移行する準備を進めます。

消防・防災対策

消防団は、消防団員数が減少傾向にあることから、消防団員の確保に努め、地域防災力の充実強化に取り組んでまいります。

月形町地域防災計画や避難所運営マニュアルを整備し、総合防災訓練をはじめ防災講話などの普及啓発活動に取り組んでまいります。

交通安全・防犯対策

交通安全意識の高揚と事故防止に努め、引き続き高齢者等運転免許証自主返納支援事業を進めてまいります。

防犯につきましては、月形防犯協会および岩見沢警察署月形駐在所・札比内駐在所と連携し、犯罪のない明るく住みよいまちづくりを推進してまいります。

地球温暖化対策

「月形町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」において公共施設・公用車を対象に、令和12年度までに温室効果ガス50パーセント削減を目指します。また、「月形町地球温暖化環境配慮行動指針」を定め、全町一体となって地球温暖化対策に取り組んでまいります。

人が輝き文化が薫るつきがた

義務教育学校の設置

月形町義務教育学校の設置に向け、令和4年5月に策定した基本方針に基づき、本年2月に基本構想を策定し、令和5年度は基本設計に着手し、令和9年度の開校に向け事業を進めてまいります。

樺戸博物館記念事業

月形樺戸博物館は今年、前身の北海道行刑資料

館から数えて開館50周年を迎えることから、記念事業を開催するなど、来館者数の増加に向けて一層努めてまいります。

新潟市月潟地区、福岡県中間市との交流

新潟市月潟地区との児童交流は、今後もオンラインを中心とした交流を継続してまいります。また、特産品の相互販売などを通じた交流を両市と継続してまいります。

発展への基盤が備わったつきがた

定住化促進事業

住宅補助制度の活用により新築住宅の建設や中古住宅の購入、住宅リフォームが促進されており、危険空き家対策としても有効な住宅などの除却補助と併せて引き続き支援を継続してまいります。

移住体験事業「保育留学」

移住体験を希望する子育て世帯が花の里こども園を一時的に利用し、保護者は住宅などでテレワークなどの勤務をする体験型の事業を実施します。

町道・橋梁の整備

町道は、旧J R 札沼線で分断されていた市北地

区（道道石狩月形停車場線）と赤川地区（町道赤川第二線）を結ぶ道路を新設して、生活の利便性の向上を図ります。

橋梁は、月形町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、昭栄・共和地区に架かる北17号橋の補修工事を令和6年度までの2カ年で実施します。

地域公共交通網形成計画

「月形町地域公共交通網形成計画」は令和5年度が最終年となります。これまでの5年間の評価を行うとともに、今後の公共交通のあり方を議論するなど、新たな地域公共交通計画の策定作業を進めてまいります。



ともに生き、ともにつくるつきがた

地域拠点施設の整備

「地域拠点施設」は、月形町地域拠点施設整備等審議会からの答申を基本として、公共施設のあり方や町財政計画を踏まえた上で整備する必要があると考えており、本町のコミュニティ活動の軸となり、町民の交流や賑わいを創出する地域拠点施設の整備に向け、施設の規模、機能、管理体制や利活用方法など、より具体的な内容をまとめた構想づくりを行ってまいります。

地域おこし協力隊

現在、本町には3名が着任しており、今後は町民保養センターなどの改修および道の駅の設置に伴う皆楽公園の再整備に向けた事業推進など、新規就農以外の分野でも活動できる人材を募集してまいります。

新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認され、瞬く間に全国に拡大してから3年が経過しました。昨年、学校現場においては児童・生徒の感染や家族との濃厚接触により出席停止となる児童・生徒が一時増加した時期もありましたが、学級閉鎖や学校閉鎖などの措置をとることなく、その間もタブレット端末を活用したオンラインによる授業などにより学びを止めない教育活動を進めてきました。引き続き健康と安全・安心を第一に感染症対策に気を緩めることなく学校教育・社会教育活動に取り組んでまいります。義務教育学校は2月に策

定した基本構想をもとに、いよいよ建設に向かい進みます。義務教育9年間を通じた小中一貫教育により、これからの時代にふさわしい質の高い教育の提供と子どもたちがワクワクして学び、未来への希望を持てるような教育環境の整備を図ってまいります。

令和5年度は「未来を創造する月形の教育」を目標に、学校教育においては、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む教育計画を編成・実施し、「個別最適な学び」と「協力的な学び」の一体的な教育活動を推進するとともに、誰もが生涯にわたって、健康で豊かな社会生活を送るための環境や体力づくりを支援する社会教育を目指し、教育行政を推進してまいります。



教育長 古谷 秀樹

教育行政執行方針

学校教育の充実

確かな学力の育成

一人一台端末は、「当たり前」の文房具として活用されており、一層の授業の改善に努めます。

全国学力テストの結果を踏まえ、平均的な学力の向上を目指します。

小学校では、複数の時間講師を配置します。

特別支援教育では、個の能力を引き出す学びを支援します。

英語教育では、国際感覚を育み、積極的に英語が使える子どもを育成します。令和5年度より小学生にも英語実用検定受験料助成を行います。

豊かな心と健やかな身体の育成

学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳教育を推進します。「いじめの見逃しゼロ」に向け、生徒指導の充実を図り「いじめが起きない」環境づくりに取り組みます。

全国体力テストの結果を踏まえ、授業の工夫に努め、基礎体力向上に向けた授業改善を図ります。

安全・安心な環境づくり

新型コロナウイルス感染症の分類引き下げとともに、ニューノーマルを構築しますが、コロナは依然脅威と捉え、感染症対策や熱中症対策の予防

に万全を期します。

また、引き続き学校歯科医による歯と口の健康教室を実施します。

自然災害、交通事故、予測できない犯罪など、あらゆる災害から「命を守る行動」がとれるよう各種教室を開催し、安全教育を徹底します。

地域とともにある学校づくり

義務教育学校は本年2月に策定した「月形町義務教育学校基本構想」に基づき、令和9年4月開校を目指し準備を進めていきます。令和5年度は建設のための基本設計業務を委託するとともに「月形町義務教育学校開校準備委員会」を設置し、学校名・校章・校訓・校歌をはじめ教育課程の編成など、細部にわたって検討します。

高等学校生への支援

月形高校は地域連携校が導入され、遠隔授業や地域の皆さんの協力などにより魅力ある探究授業が行われています。学校と連携して生徒募集活動を一層強化します。

生徒に対する支援では、工業系の専修学校へ進学する生徒や高校卒業後に町内で就職する生徒への支援の拡充なども検討します。

社会教育活動の充実

青少年健全育成の推進

令和5年度は新たに中学生を対象としたリーダー研修会を開催し、学習支援と地域課題やニーズに応じた多様なワークショップを行います。引き続き青少年健全育成基金を活用し、さまざまな分野で活躍する子どもたちを応援します。

生涯学習の推進

生涯学習講座は、これまでの実績と要望を踏まえ、新しい講座を開設するなど、工夫して学習環境の充実に努めます。ふれあい大学は、自主性を尊重し意欲的な姿勢を高めます。

読書活動の推進

幼児期からのブックスタートなどと共に、移動図書や読書ノートの発行、読書感想文コンクール

など、読書機会を拡充する事業を継続します。

スポーツ活動の推進

各種スポーツ大会や年間を通しての健康づくり・体力づくり推進事業による体力測定や健康教室などを開催します。令和5年度は総合体育館プールなどの各体育施設の補修工事などを実施します。

文化・芸術活動の推進

昨年より工事を進めていた本田明二ギャラリーが完成し、今年4月22日にオープンします。本道の歴史を語る樺戸博物館と同時に見学できる施設として相乗性を高めます。

本年、樺戸博物館は、北海道行刑資料館として開館以来50周年の節目を迎えます。これに合わせ記念するイベントなども企画いたします。